

2023年3月20日

各位

三井住友信託銀行株式会社

**アフリカで活動するベンチャーキャピタル「Verod-Kepple Africa Partners」が
運営する旗艦ファンドへの出資決定について**

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、アフリカで活動するベンチャーキャピタル「Verod-Kepple Africa Partners」(本社:ルクセンブルク、以下「VKAP」)が運営する旗艦ファンド「Verod-Kepple Africa Ventures SCSp」(パートナー:Ory Okolloh、品田 諭志、山脇 遼介、以下「本ファンド」)への出資を決定しました。

VKAP 社は、ナイジェリアの大手プライベートエクイティ会社である「Verod Capital Management」(本社:ナイジェリア・ラゴス、代表:Danladi Verheijen)と、アフリカのスタートアップに投資する日本のベンチャーキャピタル「株式会社 Kepple Africa Ventures」(本社:東京都渋谷区、代表:神先 孝裕)との合弁会社です。

当社はアフリカにおいて、「人口増大に見合う経済成長の実現」と「さまざまな社会課題の解決」の両立にチャレンジする VKAP 社の取り組みに共感し、この度、VKAP 社が運営する旗艦ファンドへの出資を決定しました。

拡大著しいアフリカベンチャー市場における成長果実の獲得に加え、本ファンドの投資先となる アフリカ地域のベンチャー企業と当社顧客とのビジネスマッチングや国内ベンチャー企業のアフリカ展開支援等、多面的な協業機会創出を目指していきます。

【本ファンド概要】

ファンド名称	Verod-Kepple Africa Ventures SCSp
運用会社	Verod Kepple Africa Partners
投資領域	アフリカ全土のシリーズ A(※1)以降のスタートアップ企業 重点領域は、金融・教育・HR・物流・小売・農業・エネルギー・ヘルスケア等

当社が属する三井住友トラスト・ホールディングスは、「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」をパーパスとして定義し、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に据えています。

今後も、社会課題の解決に貢献するインパクトエクイティ投資や、投資家への魅力的な投資機会の提供を推進し、「資金・資産・資本の好循環」の実現に向けた取り組みを一層加速させていきます。

以上

(※1)シリーズ A:スタートアップにおける投資ラウンドの1つの段階で、一般的には「プロトタイプが完成し、製品提供を開始し始めた企業」での投資ラウンドを指します。